

## 「パラリンピックに参加して」 (障害のある人もない人も共生していく社会には何が必要か)

### 1 <sup>かめま</sup>鹿沼 <sup>ゆりえ</sup>由理恵さんの講演を聞いてどのような感想を持ちましたか？

#### 障害があることを認めることについて

- ・障害があることを自身が認めることで、生きやすくなることを鹿沼さんのお話を聞いてそう思いました。
- ・障害者が障害を認めることのつらさ、とまどい等が手にとるようにわかってよかった。
- ・障害がある中でこれを乗り越えてパフォーマンスを発揮するためにどうするかをよくわかりました。
- ・自分の今までのことを素直に話していただき、障害ある人の生き方が少し理解できました。
- ・障害を認められなかったこと、認めることへの変化を話されたところがとても共感しました。
- ・私も難聴です。普通校でずっと過ごしてきましたが、健常者ばかりの環境の中、せのび（自分の障害をどこかで100%認めたくない、特別な存在でありたくないという気持ち）する気持ちよくわかります。でも障害を受容することで、自分が大きく変わる、心が身軽になるというのも同感です。

#### 共生社会のことについて

- ・共生社会が理想としますが世の中がその様な対応できる社会であって欲しいと願います。
- ・職場ですべての障害に理解があるとのこと。とてもうれしくなりました。会社でともに共生できるようなれる様にしたいですね。
- ・共生社会の大切さを感じるとともに、インクルーシブの大切さも考えさせられました。
- ・共生とは、健常者と障害者が共に・・・というだけではなく、障害者と障害者も共にという考え方が耳に新しかった。

#### 田中 まい選手とのエピソードについて

- ・田中まいさんと本音を言い合えるようになったような機会が、世の中にもっとあふれるようにあると、共生に向けて進み始めると感じた。
- ・とても素敵なお話でした。田中選手とのエピソード特によかったです。
- ・合理的配慮に心が通じる状態も含めた状態で、対等の関係が保てなければ、パラリンピックに

は勝てないと感じました。

## 質疑応答について

- ・ 質疑応答に対するお答えがすばらしかったです。
- ・ 不快な質問にも感情を出さず返事がされていたのは良かった。

## 障害のある人へのお声かけについて

- ・ 「大丈夫ですか？」より「お手伝いすることありますか？」のほうが、頼みやすい、ということが発言されていましたが、本当にその通りだと思いました。
- ・ 「大丈夫ですか？」は能力を疑われている様にも聞こえますよね。

## 2 パネルディスカッションについて、どのような感想を持ちましたか？

### パネラーの条例に対する思いについて

- ・ 条例に対する思いがよく伝わりました。
- ・ 市民の中から条例を作り上げるという気持ちが委員の発言から伝わってきて、良いアピールとなっていた。
- ・ パネラーの方々のそれぞれの思いを知ることが出来た。
- ・ どのパネリストの方のお話を聴いてもとても分かりやすくなるお話でした。
- ・ 各パネラーの方たちが、簡潔に思いを語って下さったので多くのテーマについて、話を聞くことが出来てよかったです。
- ・ 委員のみなさんの思いがとてもよく伝わりました。
- ・ 障害のある人もない人も共にの部分が強く感じられてよかったです。

### 合理的配慮について

- ・ 合理的配慮は義務といったお話があり、自分自身も仕事で生活でできていない部分が多いなど反省しました。
- ・ 「合理的配慮はスタートラインをそろえることだ」と話されていました。←私もその通りだと思います。
- ・ 合理的配慮→配慮ではなく義務というのには目からウロコでした。
- ・ 合理的配慮はこれからの課題ですね。一人一人。

### 障害のとらえ方、考え方について

- ・ 「障害」をどうとらえるか、といった話が聞けて良かったです。やはり、マイナスイメージしかない方も多いので、誰かに説明する時の参考になりました。

- ・障害の方それぞれを理解することから始まることも理解できました。
- ・子どもころから障害者に接して多様性を持たせることがゆくゆくは国際性につながるのだと思います。

### この条例が、一人一人の問題であるということについて

- ・他人事ではなく自分の事でもあるということ強く感じた。もし、自分がなったら 自分の身内がなったらなどを考えると他人事ではないと思った。
- ・「他人事」という感覚が差別視の根っこなのかな・・・。
- ・一人一人が大切にされる。皆違ってみんないい。という社会、立川になって欲しい。
- ・委員会で話し合われている様子をうかがえて、身近に感じました。より自分事として考えてみようと思います。

## 3 <sup>たちかわし</sup>立川市が<sup>さくていちゃう</sup>策定中の<sup>じょうれい</sup>条例について、<sup>かんそう</sup>どのような感想<sup>も</sup>を持ちましたか？

### 条例への要望

- ・差別化を無くす条例を作ってほしい。
- ・立川市らしい条例を作ってください。
- ・必ず入れてほしいことが、障害の理解と障害者の理解。それと合理的配慮だと思います。

### 期待できること

- ・この条例は社会にとっても重要な内容だと感じます。深い内容でとても勉強になります。
- ・どういう形で出来上がってくるのか、期待をもって見ていきたい。(先行して策定している都市とは違う一歩すすんだ条例の)
- ・とても良い条例だと思った。一人一人が条例にもとづいて出来たらよいと思う。案がとても良いと思ひ響いた。
- ・条例をきっかけに、相互理解が進み障害の有無にかかわらず、助け合える地域になることに期待がもてます。
- ・これだけの人たちが考えている条例。本当に素晴らしいものになることを期待しています。

### 周知・啓発について

- ・もっと市民みんなが良くなる、優しくなれるところをアピールしてほしい。
- ・市民みなさんへの周知が大切だと思いました。
- ・市民の方、事務所の方に意見をもらう場を作りたいと思いました。
- ・策定中ということ、もっともっと市民・地域に広めてほしいと思います。

- ・できておわり、形だけにしないために、一人一人に周知する工夫が必要ですね。

## 4 障害のある人もない人も共に暮らせるまちづくりのために、あなたはどのようなことができると思いますか？

### 声かけについて

- ・声かけ行動ができる様にポジティブな行動がとれる様にしていきたい。
- ・声かけをして助ける。
- ・自分自身、勇気をもって声出ししていくことだと思います。
- ・周囲にいれば声かけ手伝いしたいと思います。
- ・街中で困ってる障害者や高齢者に積極的に声をかけて手を差し伸べることを自から積極的にすることでそれを見ている人の心にも、心のバリアフリーを根付かせることが出来ると思います。
- ・町で障害者の方を見かけたら、声をかけてよいと思いました。「大丈夫ですか？」ではなく「何かお手伝いすることありますか？」

### その他

- ・得た知識を子育てに生かす。子育てしているお母さんに伝える。
- ・相手の個性を尊重し、認め合うこと。そのために、相手の事を知ることからはじめたい。
- ・自分の障害を通して、人々に共生をけいもうしていきます。
- ・いろんな人の立場に立ってものごとを考え、できることから動いていくこと。
- ・障害について知ること、考えること。そういう機会づくりに努力することを意識していきたいです。
- ・自治会、他の団体でテーマにしていきたいと思います。
- ・条例を知ってもらい、立川をさらによくしたいと思います。
- ・まず、自分にできることを一つでもよいからやっていきたい。
- ・特別に何をするという事ではなく、誰に対しても思いやりを持ち、対応していきたいと思っています。